

---

農業と観光業の雇用のマッチングに係る  
実態調査業務  
調査結果報告書

---

平成 31 年 3 月  
一般財団法人長野経済研究所



# 目 次

第1章 調査概要	1
1 業務目的	1
2 調査内容	1
(1)対象者	1
(2)調査方法	1
(3)調査項目	1
第2章 調査結果概要	3
1 冬季観光従事者（回答数：321名）	3
問1 年代	3
問2 居住地	3
問3 現在の勤務先 これまでの就業実績	3
問6 大北地域で働こうと思った理由（複数回答）	3
問9 冬季以外の勤務地	3
問10 冬季以外の仕事内容（複数回答）	3
問11 冬季以外で就業機会があれば、定着したいと思うか（複数回答）	3
問13 春・夏・秋の仕事として、農業で働きたいと思うか	3
問15 春・夏・秋の仕事として、大北地域での農業の就業に関する説明会の参加希望	4
2 宿泊事業者（回答数：6事業者）	5
問2 季節雇用の不足状況	5
問3 人材確保の方法（複数回答）	5
問4 人手が必要な時期に、必要人数を確保できない理由（複数回答）	5
問9 人材確保の見通し	5
問10 地域内のグリーンシーズンとウィンターシーズンの雇用のマッチングに対する	5
問11 夏季の農業就業者等で、冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用したいか	5
問12 夏季の農業就業者等で、冬季の季節労働者としてどのような人材を求めるか	5
3 索道事業者（回答数：6事業者）	6
問2 季節雇用の不足状況	6
問3 人材確保の方法（複数回答）	6
問4 人手が必要な時期に、必要人数を確保できない理由（複数回答）	6
問9 人材確保の見通し	6
問10 地域内のグリーンシーズンとウィンターシーズンの雇用のマッチングに対する	6
問11 夏季の農業就業者等で、冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用したいか	6
問12 夏季の農業就業者等で、冬季の季節労働者としてどのような人材を求めるか	6
4 農業事業者（回答数：19事業者）	7
問3 臨時（季節雇用）が必要な時期と作業、人数	7
問6 どのように雇用を確保しているか（複数回答）	7

問7 必要人数が確保できない理由(複数回答) .....	7
問8 人手不足解消のために、お願いしたいこと .....	7
第3章 アンケートから見える現状と次年度の取組の可能性 .....	8
1 アンケート結果から見える現状 .....	8
(1)就業機会があれば、冬季以外における当地域への定着意向が高い .....	8
(2)農業に関心があり、働きたいと考える季節雇用者は、36%(117名)存在する .....	8
(3)大北地域での農業の就業に関する説明会への参加希望者は18%(57名) .....	9
(4)宿泊事業者、索道事業者ともに雇用のマッチングに対する協力が得られる .....	9
(5)スキー場等との雇用のマッチングに期待する農業事業者が多数存在 .....	9
2 アンケート結果から見える課題や可能性 .....	10
(1)当地域への移住、定住を促す就業機会等の情報発信の必要性 .....	10
(2)農業への関心があり、説明会開催を希望する声への対応 .....	10
(3)観光事業者と農業事業者等が定期的に意見交換する場の必要性 .....	10
(4)大北地域全体の雇用のマッチング機会と機運の醸成 .....	10
3 次年度以降の対応(施策の提案) .....	11
(1)働き方の提案を目的とした農業や観光業等に関する就業情報の発信 .....	11
(2)大北地域での農業をはじめとする就業に関する説明会の開催 .....	11
(3)宿泊事業者、索道事業者、農業事業者等による意見交換会の開催 .....	11
(4)冬季と夏季での雇用マッチングに関するシンポジウムの開催 .....	11
資料編 .....	12
アンケート結果報告書 .....	12
1 冬季観光従事者 .....	12
2 宿泊事業者 .....	12
3 索道事業者 .....	12
4 農業事業者 .....	12

# 第1章 調査概要

## 1 業務目的

本業務は、季節間の業務量変動が大きい「農業」と「冬季観光業」において、安定的人材を確保する方法として、繁忙期が異なるこれらの業種間で人材を融通し合う施策を検討するための実態把握を目的とした。併せて、当該業種で働く者に対しても年間を通じた就業により、当地域への定着や移住の促進が図れるかについて調査を行った。

## 2 調査内容

### (1) 対象者

- ・ 冬季観光従事者（勤務先 9 事業者、計 321 名）
- ・ 宿泊事業者（6 事業者）
- ・ 索道事業者（6 事業者）
- ・ 農業事業者（19 事業者）

### (2) 調査方法

事業者へ調査票を持参し、回答後に直接回収を行った。

### (3) 調査項目

主な調査項目（アンケート項目）は以下のとおり。

調査対象	調査項目
冬季観光従事者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 回答者の属性（性別、年齢、居住地）</li><li>・ 現在の勤務状況（雇用期間、業務、住居種類）</li><li>・ 大北地域での勤務理由</li><li>・ 冬季以外の勤務状況（勤務地、業種）</li><li>・ グリーンシーズンの大北地域での勤務希望（業種、農業への関心）</li><li>・ 農業の就業説明会への参加意向</li><li>・ その他希望等</li></ul>
宿泊事業者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会社の状況（部屋数、収容人数、従業員数）</li><li>・ 季節ごとの雇用状況（従業者数、必要人数）</li><li>・ 人材確保の状況（募集方法、確保が出来ない理由）</li><li>・ 季節雇用者の状況（地域、属性（学生・社会人・外国人））</li><li>・ 人手不足の状況（原因、見通し）</li><li>・ 農業従事者への意向（季節雇用者としての確保意向）</li><li>・ その他課題等</li></ul>
索道事業者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会社の状況（従業者数）</li><li>・ 季節ごとの雇用状況（従業者数、必要人数）</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保の状況（募集方法、確保が出来ない理由）</li> <li>・季節雇用の状況（地域、属性（学生・社会人・外国人））</li> <li>・人手不足の状況（原因、見通し）</li> <li>・農業従事者への意向（季節雇用者としての確保意向）</li> <li>・その他課題等</li> </ul>
<p style="text-align: center;">農業事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の状況（品目、規模、受託規模）</li> <li>・季節ごとの雇用状況（従業者数、必要人数）</li> <li>・季節雇用の状況（地域）</li> <li>・人材確保の状況（募集方法、確保が出来ない理由）</li> <li>・人材確保について県、JAへの要望</li> <li>・その他悩み等</li> </ul>

## 第2章 調査結果概要

第2章では、別添のアンケート調査報告書から結果を抜粋している。なお、調査結果の詳細については、別添を参照ください。

### 1 冬季観光従事者（回答数：321名）

#### 問1 年代

20代（39%）、30代（19%）が全体の58%

#### 問2 居住地

県外50%、県内（大北地域）36%、県内（大北地域以外）12%

#### 問3 現在の勤務先 これまでの就業実績

当地域への就業が「初めて」47%、「ほぼ毎年来ている」25%

#### 問6 大北地域で働こうと思った理由（複数回答）

「この地域の自然等の魅力」39%、「望むライフスタイルとの兼ね合い」12%

「現在の仕事が好き」11%

#### 問9 冬季以外の勤務地

県外53%、県内（大北地区）25%、県内（地域以外）17%

#### 問10 冬季以外の仕事内容（複数回答）

宿泊業14%、飲食店14%、学生10%、アウトドア関連9%

#### 問11 冬季以外で就業機会があれば、定着したいと思うか（複数回答）

（問9で冬季以外の勤務地が県内（地域以外）＋県外の人）

「どんな職種でも働きたい」5%、「希望する業種・職種なら働きたい」13%

#### 問13 春・夏・秋の仕事として、農業で働きたいと思うか

「働きたい」7%（21名）、「詳しく知りたい」＋「興味・関心がある」29%

■「働きたい」と回答した観光事業者の希望人数 5事業者・合計21名

#### 問14 春・夏・秋の仕事として、農業で働きたくない理由（複数回答）

「他に希望する業種があるから」29%

「体力的にきつい・向いていない」23%

「未経験のため、従事できるか分からない」10%

問 15 春・夏・秋の仕事として、大北地域での農業の就業に関する説明会の参加希望  
「参加したい」18%（57名）、「参加したくない」74%

■ 「参加したい」と回答した観光事業者の希望人数 7事業者・合計57名



## 2 宿泊事業者（回答数：6事業者）

### 問2 季節雇用の不足状況

「1月～3月」、「7月～8月」で20人程が不足

### 問3 人材確保の方法（複数回答）

「知り合いや同業者等からの紹介」4事業者

「求人サイトへの掲載」4事業者

「求人サイトへの掲載」4事業者

「インターンシップの実施・充実」3事業者

### 問4 人手が必要な時期に、必要人数を確保できない理由（複数回答）

「求職者がいない」6事業者

「勤務時間、給料等の条件に合う人材がいない」4事業者

### 問9 人材確保の見通し

「現在より厳しくなる」5事業者

### 問10 地域内のグリーンシーズンとウィンターシーズンの雇用のマッチングに対する協力意向

■ 「協力意向あり」 5事業者

### 問11 夏季の農業就業者等で、冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用したいか

■ 「人手不足なので受け入れたい」 6事業者

### 問12 夏季の農業就業者等で、冬季の季節労働者としてどのような人材を求めるか（冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用する場合）

「毎年継続して働ける」5事業者

「経験や資格等は問わず誰でも」3事業者

### 3 索道事業者（回答数：6事業者）

#### 問2 季節雇用の不足状況

1月 60名、2月 51名、3月 32名、7月 10名、8月 15名

#### 問3 人材確保の方法（複数回答）

「ハローワークでの求人情報提供」6事業者

「人材紹介会社からの紹介」6事業者

「知り合いや同業者等からの紹介」5事業者

「求人サイトへの掲載」5事業者

#### 問4 人手が必要な時期に、必要人数を確保できない理由（複数回答）

「求職者がいない」5事業者

「勤務時間、給料等の条件に合う人材がいない」3事業者

#### 問9 人材確保の見通し

「現在より厳しくなる」6事業者

#### 問10 地域内のグリーンシーズンとウィンターシーズンの雇用のマッチングに対する協力意向

■ 「協力意向あり」 6事業者

#### 問11 夏季の農業就業者等で、冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用したいか

■ 「人手不足なので受け入れたい」 6事業者

#### 問12 夏季の農業就業者等で、冬季の季節労働者としてどのような人材を求めるか（冬季の季節的労働に従事できる人材を雇用する場合）

「毎年継続して働ける」5事業者

「経験や資格等は問わず誰でも」4事業者

#### 4 農業事業者（回答数：19事業者）

##### 問3 臨時（季節雇用）が必要な時期と作業、人数

※集計結果は回答企業の単純合算による

##### 水稻（n=10）

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計	必要人数	不足人数
育苗				6	1								7	40	2
肥料散布				3	4								7	18	2
耕起・代かき				4	4								8	16	1
田植え				2	7	2							11	35	7
除草剤散布				2	5	2							9	20	1
水管理				3	6	6	6	2	1				24	33	7
畔畦管理				1	3	10	10	9	6	2			41	70	13
収穫									6	5			11	26	3
乾燥・調整									5	5	1		11	15	1
出荷作業	1	1	1	1	1				5	5	6	2	23	16	2
その他														0	0

##### 果樹（n=12）

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計	必要人数	不足人数
摘蕾・摘花				5	3	1							9	59	14
摘果・摘房				1	8	9	5						23	61	18
新梢管理						4	4	3	3				14	13	0
農薬散布			1	5	5	5	5	5	5				31	4	0
除草管理				1	1	3	3	3	3	1			15	5	0
葉摘み・玉回し								4	7	8			19	55	9
収穫							1	5	7	9		1	31	69	20
調整・荷造り	2	2						4	5	5	6	4	28	25	0
せん定	7	7	7	1									22	15	4
その他											1		1	3	0

##### 野菜・花き（n=4）

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計	必要人数	不足人数
育苗							1		1	1			3	3	0
植付け(播種)			1						1				2	3	0
整枝・芽かき	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2	1
農薬散布														0	0
除草管理					1	1	1	1	1	1	1		7	7	2
収穫	1	1	1	1	2	3	3	4	4	3	3	1	27	31	5
調整・荷造り	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	19	9	3
ハウス被覆・除去														0	0
その他														0	0

##### 問6 どのように雇用を確保しているか（複数回答）

「知り合いからの紹介」17事業者

「以前から同じ人が継続して勤務」16事業者

##### 問7 必要人数が確保できない理由（複数回答）

「紹介、求人ともに希望者が見つからない」10事業者

「紹介、求人に来てくれるが長続きしない」6事業者

##### 問8 人手不足解消のために、お願いしたいこと

「スキー場等他産業従事者とのマッチング」10事業者

「無料職業紹介」8事業者

「農業アルバイトへの招へい」6事業者

「都市住民・学生への招へい」5事業者

## 第3章 アンケートから見える現状と次年度の取組の可能性

### 1 アンケート結果から見える現状

#### (1) 就業機会があれば、冬季以外における当地域への定着意向が高い

冬季以外の勤務地は、県外が半数以上いるが、就業機会があれば当地域へ定着したいと考える季節雇用者が7割以上存在する。加えて、季節雇用者の25%（80名）はほぼ毎年働きに来ており、当地域への定着を促す就業機会の提供が重要である。

#### 【冬季観光従業者向けアンケート結果から抜粋】

問3 現在の勤務先 これまでの就業実績

当地域への就業が「初めて」47%、「ほぼ毎年来ている」25%

問9 冬季以外の勤務地

県外53%、県内（大北地区）25%、県内（地域以外）17%

問11 冬季以外で就業機会があれば、定着したいと思うか（複数回答）

（問9で冬季以外の勤務地が県内（地域以外）＋県外の人）

「どんな職種でも働きたい」＋「条件が合えば働きたい」等 全体の7割

#### (2) 農業に関心があり、働きたいと考える季節雇用者は、36%（117名）存在する

冬季以外に、農業で働きたいと考える季節雇用者は、7%（21名）おり、興味関心があるを加えると36%（117名）となる。

#### 【冬季観光従業者向けアンケート結果から抜粋】

問13 春・夏・秋の仕事として、農業で働きたいと思うか

「働きたい」7%（21名）、「詳しく知りたい」＋「興味・関心がある」29%

■ 「働きたい」と回答した観光事業者名・希望人数 5事業者・合計21名

**(3) 大北地域での農業の就業に関する説明会への参加希望者は18% (57名)**

春・夏・秋の仕事として、大北地域での農業の就業に関する説明会の参加について、18% (57名) が「参加したい」と回答している。

**【冬季観光従業者向けアンケート結果から抜粋】**

問15 春・夏・秋の仕事として、大北地域での農業の就業に関する説明会の参加希望  
「参加したい」18% (57名)、「参加したくない」74%

■ 「参加したい」と回答した観光事業者の希望人数 7事業者・合計57名

**(4) 宿泊事業者、索道事業者ともに雇用のマッチングに対する協力が得られる**

宿泊事業者 (5事業者)、索道事業者 (6事業者) とともに、地域内の夏季と冬季の雇用のマッチングに対する協力が得られる。

**(5) スキー場等との雇用のマッチングに期待する農業事業者が多数存在**

人手不足解消のために、お願いしたいこととして、「スキー場等他産業従事者とのマッチング」10事業者、「無料職業紹介」8事業者、「農業アルバイトへの招へい」6事業者などが挙げられた。

**【農業事業者向けアンケート結果から抜粋】**

問8 人手不足解消のために、お願いしたいこと  
「スキー場等他産業従事者とのマッチング」10事業者  
「無料職業紹介」8事業者  
「農業アルバイトへの招へい」6事業者  
「都市住民・学生への招へい」5事業者

■ スキー場等他産業従事者とのマッチング希望 10事業者 (個人経営含む)

## 2 アンケート結果から見える課題や可能性

アンケート結果から課題や今後の施策展開の可能性について、下記の事項が挙げられる。

### (1) 当地域への移住、定住を促す就業機会等の情報発信の必要性

- ・就業機会があれば当地域へ定住したいと考える季節雇用者が7割以上存在する。
- ・また、季節雇用者の25%（80名）はほぼ毎年働きに来ており、当地域への定着を促すため、就業機会の情報発信等を行うことで、移住・定住につながることを期待できる。

### (2) 農業への関心があり、説明会開催を希望する声への対応

- ・冬季以外に、農業で働きたいと考える季節雇用者は、7%（21名）おり、興味関心があるを加えると36%（117名）となる。
- ・また、春・夏・秋の仕事として、大北地域での農業の就業に関する説明会が開催されれば、「参加したい」と季節雇用者の18%（57名）が回答しており、説明会開催への要望があることから、説明会の開催には一定の効果が期待できる。

### (3) 観光事業者と農業事業者等が定期的に意見交換する場の必要性

- ・宿泊事業者、索道事業者ともに雇用のマッチングに対して協力したい事業者が大半であり、連携して具体的な施策検討を進めていくことが重要である。
- ・一方、農業事業者についても、スキー場等の観光事業者との雇用のマッチングに期待する声は多く、観光事業者と農業事業者とが定期的に意見交換する場を設けることは施策を検討していく上で有効と言える。

### (4) 大北地域全体の雇用のマッチング機会と機運の醸成

- ・今回の調査は、「農業」と「冬季観光業」において、安定的人材を確保する方法として、人材を融通し合う施策を検討するための実態把握を目的とした。
- ・しかしながら、製造業や建設業をはじめとする幅広い業種で人手不足が深刻になっており、大北地域全体として、雇用のマッチング機会と機運の醸成を図っていくことが重要と言える。
- ・今後は働き方の提案を目的とした就業に関する情報発信のほか、シンポジウムや就業説明会の開催など当地域への定着や移住促進につながる施策の検討が必要である。

### 3 次年度以降の対応（施策の提案）

#### （1）働き方の提案を目的とした農業や観光業等に関する就業情報の発信

- ①冬季と夏季の雇用マッチングに関するモデル事業者の選定  
（もしくは、調査においてマッチング希望先事業者を紹介する）
- ②モデル事業者や当地域へ定住し、農業や観光業等で働く人についてまとめた冊子等の作成
- ③作成した冊子をシンポジウムや就業説明会、移住セミナー、相談会等で配布

#### （2）大北地域での農業をはじめとする就業に関する説明会の開催

- ①JA等の農業関係者との説明会開催に向けた検討
- ②農業だけでなく建設業をはじめとする関係者を交えた検討
- ③説明会の開催、個別相談会の開催 他

#### （3）宿泊事業者、索道事業者、農業事業者等による意見交換会の開催

- ①人材確保の現状、人材確保に向けた取り組み
- ②求める人材の条件、就業説明会の開催方法
- ③雇用のマッチング方法の検討（インターンシップ、個別面談 等）
- ④その他、今後必要な取り組み 他

#### （4）冬季と夏季での雇用マッチングに関するシンポジウムの開催

<シンポジウム開催イメージ>

- ①アンケート調査結果報告
- ②モデル事業者による発表
- ③基調講演
- ④パネルディスカッション（案）

テーマ：（仮）「新しい時代に合わせた多様な暮らし方と働き方を考える」

##### 【パネリスト】

- ・コーディネーター
- ・農業者 A氏
- ・観光事業者 B氏
- ・製造事業者又は建設事業者 C氏
- ・基調講演者 D氏
- ・季節雇用者 E氏

※ 多様な働き方の事例だけでなく、移住・定住への発展した事例や今後の可能性について考える機会とする。

- ⑤シンポジウム後に、個別相談会（就業、移住 他）の開催

## 資料編

### アンケート結果報告書（別紙）

- 1 冬季観光従事者
- 2 宿泊事業者
- 3 索道事業者
- 4 農業事業



